

事業所名 児童発達支援センター サンキッズ岩国

支援プログラム

作成日 令和8年 3月 1日

法人(事業所)理念	美和福祉会は、ご利用者・全役職員の物心両面の幸福を追求します。 ご利用者にベストのサービスを提供する。 組織価値を高め社会貢献をする。				
支援方針	個性を大切にした療育を基本に置き、1人ひとりのお子様の個性を重視し目標と一緒に考え、一緒に支え、一緒に喜び合うサポートをします。				
営業時間	8時	30分	17時	15分	送迎実施の有無 あり なし
支援内容					
本人支援	健康・生活	1. 健康状態の維持と改善 お子様の障害、疾患等、事前に健康状態の把握に努め健康を害する身体症状や普段と変わった変化があれば、早期発見と対応に努め、ご家族又は協力病院(毛利小児科)と迅速な連携を図り、お子様の健康維持に努める。 2. 健康増進 給食を毎日提供してお子様の摂食の仕方を適確に把握すること、ご家庭での食生活の情報を把握(偏食、執着)して改善に向けた工夫を施し、ご家族へ食育指導を実施する。 3. 生活スキルの獲得 食事、衣類の着脱、排泄、整容動作等、生活を営む上での必要となる基本的動作の習得に向けた支援の実施			
	運動・感覚	1. 身体機能と運動能力の向上 子どもの障害特性や運動能力に合わせた、活動内容の工夫、体験や経験の積み重ねによる支援。運動ルームの空間を有効に活用した小集団遊び、遊具を用いた使い方の学びや工夫。 2. 感覚の特性への対応 乳幼児発達スケール(Tタイプ)により導き出した感覚特性(五感の特性)を適切に評価、感覚の隔たりや偏りに対する環境設定や調整、支援の組み立て方への配慮を行う。			
	認知・行動	1. 感覚と認知の活用 子どもの障害や発達特性から生じる認知機能を適切な評価、認知的発達を促すための制作活動や身体的遊びの実施 2. 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成 物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、空間、時間等の概念の形成を図ることにより、認知や行動の手がかりを応用			
	言語 コミュニケーション	1. 言語の形成と活用 言語聴覚士が子どもの言語能力を評価測定(LC)、発声や発音の仕方、ひとりひとりの能力に沿った計画を作成して支援を実施 2. 表出言語と非言語の活用 子どもの発達段階に応じた会話、単語、文字、記号を用いて、相手の言語を理解して表出する方法の支援を実施			
	人間関係 社会性	1. 模倣行動の支援 ひとりひとりの子どもを適切に評価し、遊びを通じて人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを促す。 2. 一人遊びから協同遊びへの支援 子ども自らが能動的かつ自発的に遊びに参加、手順やルールの理解、集団遊びへの参加の支援を実施			
家族支援	子どもに関する情報や気づきの提供、子育てに関する悩みや不安の相談を受付、家族の問題や課題について助言と解決を促す。ペアレントトレーニング、ペアレントメンターとの機会を活用しながら子どもの育ちを支える力をつけられるよう支援します。	移行支援	こどもが通っている保育所、幼稚園への円滑的な移行が進められるよう、支援内容の伝達と相互の情報共有の機会を設定して共通理解を図る。		
地域支援・地域連携	保育所等の子育て支援機関との連携、自治会や地域組織団体と連携したネットワークの作り	職員の質の向上	定期的なコンサルテーションによる研修と支援の指導と助言 専門職による内部研修の計画と学びの機会の確保		
主な行事等	避難訓練、夏祭り、親子遠足、クリスマス会				